

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年4月22日

団体名 岡崎市手をつなぐ育成会

代表者 浅野 宗夫

構成員 136 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

会員の協力により、知的障がい児・者の育成保護に務め、会員の資質の向上及び、相互の親睦を図り、知的障がい児・者に対する社会福祉事業の進歩、改善に寄与すること。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員 以外) 人数※1	活動内容
令和6年 4月22日・25日	こども発達センター (わかば・むつみ)	通所している家族	50	育成会の紹介と「手をつな Go!Go!フェスタ」の招待状配布。
令和6年 6月4日	ハピネスヒル幸 田(幸田町)	会員外の障がい児・者の親 支援者		「数年後の成年後見制度とグループホーム制度」講演会。
令和6年 6月23日	せきれいホール	特別支援学校生・子ども発達センター通園児・保護者	57	「手をつな Go!Go!フェスタ」と題し音楽サークルの発表や映画上映を行った。
令和6年 8月24日	乙川河畔	平和学園 障がい児・者の兄弟	25	岡崎市漁業協同組合の協力のもと「鮎つかみ捕り」を開催。
5月・10月・ 11月・12月 令和7年1月・ 2月	友愛の家 アオイ乗馬 トランポリン他	障がい児・者の兄弟 こども発達センター 通園児・保護者	13	中学生以下の親子を対象に、乗馬・ボッチャ・トランポリン体験を開催。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

会員子ども(障がいを持つ人)と地域の家庭が 音楽・映画鑑賞や屋外活動をともしに行う場を企画提供した。
いきいきと発表する姿や バザーを通じ、障がい者の社会参加への理解を深めたり、屋外活動(鮎つかみ捕り)の場では魚を譲り合う温かな交流が生まれ、「地域で共に生きる」ことを相互に感じる一助となった。
また、親亡き後を考える講演会を企画し、会に未加入の障がい児・者の親・学校関係者・支援者にも参加を募り、学びを共有することができた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 ④ 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

障がい児・者が一般社会で共生していけるよう、イベントを通して多くの方に育成会の活動を周知することにより、社会生活への自立に向けて支援を行うことができた。